源宝公夫人貞秀院

[illegible]

源亜公夫人貞秀院

拙子事参府中度々も御懇情ニて
よろしく御心入候へハ忝く存候それにても
人ニ名くおりのみ事ともわすれず
よろしく上下の為も何事なりとも
おん入候けるを御為の御様ニて
上はつし引候ハ参府しきれハ
名々ニ存じ候て以下上下
重宝ニぞんじ候此津ニ五風
御り一角一つ御事ハ御心く御返しも
名此上にも御ニ五風ハ御きみと
上様へ之が此りに御所様への
殿御の御中とて其くとらふ御事
ほどの御事も有りく之や御く
御細ハ年之めのめの意之
無御事も御ニ入候ハ御心当
見宜こハ御ほと候とまのつ

一　見候もれ　御様ハ上らにこ
くさも御にもしくもれし
此々御様ニ御気の御常ハ
此のこもくりすさと　御返も
一御有のもしにて　すく
の御しく候とも宜しく御の
御ハ御のとも大宜、
御返合御ニ之ハ御でも其も
まも其も御りにつとも上候ハ
其ハとらつが宜ふ候ら
其御御もにもへ御様ハ
こらとがり御人く御の御事
御くはにし又は体ニ御様ハ
家大殿合とらとそても宜人や